

「国土交通省 公共事業コスト構造改革プログラム」

【施策名：(2) 計画・設計から管理までの各段階における最適化 【3】 管理の見直し】

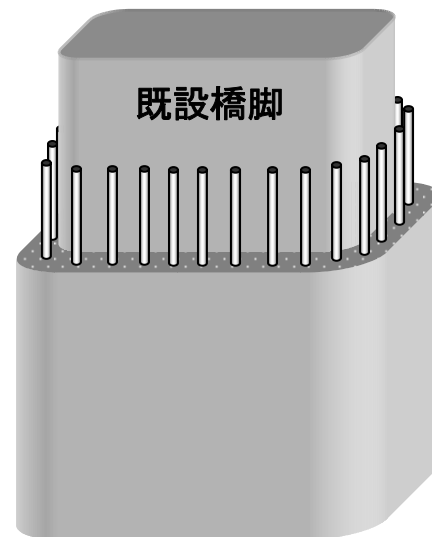
解析手法の見直しによる耐震補強の合理化

工事名：志知高架橋耐震補強工事。

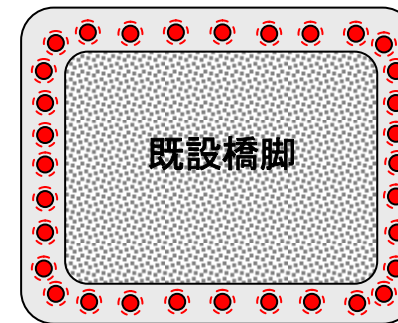
概要：耐震補強設計に高度な解析手法を適用したことによって補強材量を大幅に低減し、コストの縮減を図りました。

効果：○補強鉄筋量が約50%減少

■縮減額 100百万円 (対象橋脚数：43橋脚148柱)



鉄筋コンクリート巻き立てによる耐震補強



使用鉄筋サイズの変更
D25→D22
D32→D22